

Labo NEWS



Aichi Association of Medical Technologists Report

らぼニュース



愛臨技会計部 公益社団法人としての会計業務

会計部長 石神 弘子

CONTENTS

- 巻頭言 愛臨技会計部 公益社団法人としての会計業務…………… 1
- 法人設立35周年記念式典のお知らせ…………… 2
- 「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のための筋肉内注射実技研修」を受講して…………… 3
- 職域接種に参加して…………… 4
- 地区だより(東三河)…………… 5
- 令和3年度臨床検査技師へのタスクシフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会のご案内…………… 6
- 令和3年度 日臨技中部圏支部「生物化学分析部門研修会」…………… 6
- 令和3年度 第1回西三河がんフォーラム…………… 7
- 基礎講座、講演会…………… 7~9
- AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信(第76回)…………… 10
- 著作物紹介…………… 10

2021年8月3日現在 正会員数 3,593名

愛知県臨床検査技師会総務部門に属する会計部は当会の活動の基礎となる会計業務を事務職員、公認会計士の協力のもと遂行しております。当会は平成20年12月1日施行の「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づいて設立された公益社団法人です。公益社団法人は国や都道府県といった行政庁からの審査を受け認定されます。登記のみで設立可能な一般社団法人と違い、公益社団法人となるには厳しい審査基準をクリアし、その認定後も定期的な報告義務と立入調査を受けることが必要です。

認定継続のためには、財務面では経理的な基礎と技術能力があるとともに、公益目的事業比率が1/2であること、収支相償といい公益目的事業での収入が公益目的事業に係る費用を上回らないこと、遊休財産額上限維持が必要です。また、公益社団法人になると「3区分会計(公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計)」になるため、複雑な会計処理が必要です。会員の皆さまのお手元に届く総会議案書にはこの会計処理に則った予算書、決算書が掲載され、公益社団法人の財務基準を満たしているかが分かります。この予算書、決算書の作成は、各研究班の班長、会計担当者や地区理事の方々がやっている毎月の会計作業が基になっています。我々総務部門役員と同様に各研究班の班長、会計担当者や地区理事の方々も職場業務に加え、技師会会務に携わっています。そうした方々のご協力のもと、愛臨技の予算、決算が作成されています。細かい数字が並んでいますが、ぜひ、来年度の議案書をご覧ください。私たちの技師会活動の一面を知っていただけるかと存じます。

現在も新型コロナウイルス感染症拡大が続き、様々な行事に制約が出ております。その中で、各事業部が工夫をこらし、新たな開催方法や取り組みが始まっています。そうした活動を財務面から支えていけるよう会務を遂行してまいります。会員の皆さまには、是非とも多くの技師会行事にご参加いただけますと幸いです。

今後とも会員の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。



公益社団法人愛知県臨床検査技師会 法人設立35周年記念式典

公益社団法人愛知県臨床検査技師会は、令和4年に法人設立35周年を迎えます。これもひとえに関係各位の皆様のご指導の賜と深く感謝申し上げます。このたび、35周年を記念し、下記要領で記念講演会並びに記念式典を開催することになりました。会員のみなさまにおかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を設けて開催いたしますことをご了承いただき、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

また、感染拡大の状況によっては、今後変更になる場合がございますので、最新の状況は当会ホームページにてお知らせいたします。

記

日 程：令和3年10月31日(日)

会 場：ガーデンシティ PREMIUM 名古屋ルーセントタワー16F
名古屋市西区牛島町6-1

講演前体験：9時15分～9時55分(野菜摂取充足度測定・数十秒/名)

記念講演会：10時～11時

テーマ「野菜と上手に付き合ってもらおうためのコツ(予定)」

講師 カゴメ株式会社 健康事業部 課長 林 宏紀 氏

記念式典：11時15分～12時

生涯教育：基礎教科20点

登録定員：会員75名

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録、令和3年10月1日～22日(予定)

以上

「新型コロナウイルス感染症に係る ワクチン接種のための筋肉内注射実技研修」 を受講して

藤田医科大学 岡崎医療センター 西井 智香子

東海地方の梅雨明け宣言が出された7月17日。愛知県で計3回予定された「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のための筋肉内注射実技研修」の第1回目が安城更生病院で開催されました。

新型コロナウイルス感染症の収束を目指したワクチン接種は、藤田医科大学病院群では5月より第一病院(豊明市)で大規模接種が開始され、私が勤務する藤田医科大学岡崎医療センターにおいても7月より大規模接種会場として1日約1,000人に対する接種を行っております。当院でのワクチン接種は、院内の医師、看護師、薬剤師、事務の方を中心に毎日8時間対応を行っております。昼間は日常の検査業務に追われていましたが、近年タスクシフト・タスクシェアの実践が叫ばれていて今自分が出来ることは何かを考えさせられていた矢先、「国から新型コロナワクチンの打ち手として臨床検査技師への要請が正式に出された」という情報、さらに日臨技のホームページでは座学研修・実技研修が行われることを知り、直ぐにHPを開きました。

座学研修150分は長いかな?という印象でしたが、「新型コロナワクチンの分類」の講習内容ではどの製薬会社のものがどのタイプで体内ではどのように働くのかなど、大変興味深い内容でありました。病院で働く臨床検査技師の身でありながらも実際には全く知らなかったのです。

さて、実際に参加した「実技研修」当日は、研修初日ということもあり報道関係者が多くいたため緊張するのではないか、筋肉注射を抵抗なく行えるか、など色々な不安がありました。実際に開始されると「座学」で学んだことと「実技研修」での医師、看護師の方からの具体的な接種方法や接種の際の細かな注意事項に対する指導により、集中して研修を受ける事が出来ました。

シミュレーターを用いての実技では、最適な穿刺部位を決めることが難しく感じられました。また、被接種者への声掛けなどは、普段の採血業務に近い対応と感じられスムーズに声掛けなどできましたが、接種部位を決めるポイントである肩峰、三角筋は採血では触れたりすることのない部位である為、自分の腕だけを触っても理解しにくかったのですが、直接指導の看護師さんが自身の腕を出して、触つての確認方法を繰り返し指導してくださり自分の中の理解が大変深まりました。

今回研修会を受講しワクチン接種の打ち手としての資格を得ることが出来ましたが、現時点ではワクチン接種の打ち手としての活動はしていません。ただ、いつ声が掛かって安全・確実に落ち着いた対応ができるよう、頭と心の中で学んだことを思い返しその時に備えたいと思います。そして何より、このコロナ禍が一日も早く終息し、安心した生活が取り戻されるよう祈っています。

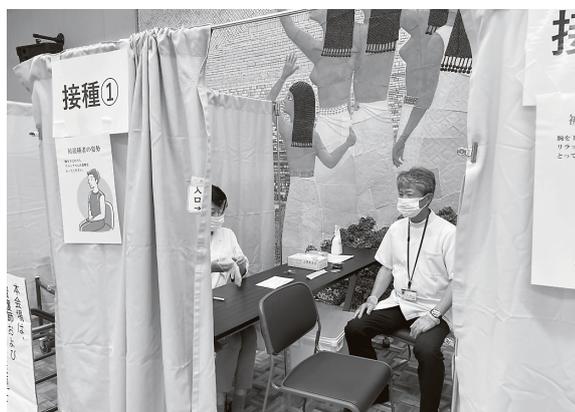


職域接種に参加して

半田市医師会健康管理センター 太田 真美

新型コロナウイルスワクチンの打ち手確保のため臨床検査技師と救急救命士も研修を受ければ一定の条件のもと接種できるようになりました。今回、愛知県と愛知県臨床検査技師会主催で臨床検査技師と救急救命士を対象に実技研修会が開催され、多数の応募のなか、第1回の7月17日に受講することができました。

実技研修は、感染症内科の鈴木先生から「ワクチン接種時の注意事項」として三角筋の接種部位や筋注の合併症、接種時の注意事項などの講義がありました。身振り



手振りで説明していただき、安全に接種するための正しい目線や、シリンジを固定して刺入する具体的な手技や、自分のやりやすい環境を整えることなどを学びました。感染管理認定看護師の駒井さんからは、接種会場の流れと役割分担、針刺し事故、迷走神経反射などのリスク管理を重点にお話しをいただきました。実践的な内容で打ち手になったときのイメージが具体的になり、自分のペースで接種を行うことが大事であると勉強になりました。最後の1時間は、看護師の方々の指導を受けながら、シミュレーターを使って筋肉内注射の練習です。参加者達と、「シリンジの穿刺角度がちょっと斜めになっているよ」とお互いに指摘しあいながら、和気あいあいとしながらも、もちろん真剣に練習を行い、実務にむけて貴重な研修会となりました。

研修修了3日後に、ワクチン接種を行うことになりました。半田商工会議所主催、半田市医師会と半田市医師会健康管理センターの医療支援で行われている職域接種に要請があり、7月20日に私たち研修を修了した検査技師2名も打ち手として実務にあたりました。日頃採血業務を行っているので、シリンジの扱いや受診者への声掛けなどは慣れていますが、接種部位を定めることは不慣れなため、最初は前後の腋窩線と肩峰を触って確認しながら慎重に接種しました。何人か接種するうちに要領をつかみ、被接種者が不安そうであれば声掛けを多くしたりと、周囲の様子も観察できるようになりました。接種ブースに看護師、臨床検査技師と打ち手の掲示をしましたが、懸念の声が出ることもなく、割り当てられた60名の接種が無事完了し安心しました。

今後は、地域の集団ならびに職域ワクチン接種会場での接種業務に、新型コロナウイルス感染拡大防止に関わるスタッフと連携しながら、本地域の一助となるよう積極的に参加していきたいと思っています。



新城ラリー

新城市は愛知県東部の東三河地方に位置し豊橋市や豊川市の北にあり、愛知県内では豊田市に次いで2番目に広い面積を有する自治体になります。新城市民病院は、2次救急を担う東三河・奥三河の基幹病院です。市内には、湯谷温泉や桜淵公園、つくで手作り村をはじめ自然豊かな名所があり、観光客が愛知県近郊から多く訪れます。

F1レースをも凌ぐ人気というモータースポーツ「ラリー」。新城市ではその日本最大級の大会が、毎年開催されています。日本で初めて民間と地方自治体が協力し誕生した「新城ラリー」は、例年5万人を超える観戦者を動員する新城市最大のイベントとなっております。公園内や市内林道などに設けたコースを走行するスペシャルステージに、日本トップクラスの選手が参加します。サーキットでのレースとは異なり、一台ずつ、いくつかのスペシャルステージでタイムアタックを行い、その積算タイムで順位を競います。北海道から九州まで全国で開催される選手権ですが、この新城ラリーは最大の観客動員数を誇るビッグイベントです。



四谷の千枚田

愛臨技の会員のみなさん是非一度新城市へお越し下さい!!



“ 検体採取に続く業務拡大の第2弾 ”

令和3年度臨床検査技師へのタスクシフト/シェアに関する 厚生労働省指定講習会のご案内

愛臨技主催にて12月より下記の日程で標記講習会を開催する予定です。詳細に関してはホームページ(日臨技および愛臨技)にてご確認ください。なお、本事業は今後数年間開催されます。

今年度の予定：12月19日(日) 予定

1月30日(日) 予定

会 場：藤田医科大学 10号館

実施内容：①日臨技から公開される各業務の講義動画(700分)

②各県で実施される実技講習360分(動画視聴100分、実技260分)

注)①を各自で受講(キーワード、確認試験)し、本講習会にて②を受講することになります。

募集人数：60名

参加費：日臨技会員15,000円、非会員40,000円

応募方法：日臨技特別ページより

※詳細は日臨技および愛臨技 HP をご確認ください。

令和3年度 日臨技中部圏支部研修会 「生物化学分析部門研修会」開催案内

主催：(一社)日本臨床衛生検査技師会中部圏支部
実務担当技師会：静岡県臨床衛生検査技師会

【テーマ】「臨床化学、免疫化学の未来を見据えて
～求められる検査技師を目指して～」

【日時】令和3年11月27日(土)～令和4年1月31日(月)

【開催方法】オンデマンド配信

【参加方法】日臨技 HP より事前参加申し込み

【申込期間】令和3年8月1日(日)～11月16日(火)

【定員】200名

(申し込み状況により追加募集をします)

【受講料】会員1,000円

【内容】愛臨技 HP (生物化学分析検査研究班)
をご参照ください。

【研修会事務局】

〒420-8527 静岡県静岡市葵区北安東4丁目27-1

静岡県立総合病院 検査部 村越 大輝

TEL：054-247-6111(内線8174)

FAX：054-247-6186

Email：murakoshi.kensou.kensa@gmail.com

令和3年度 第1回 西三河がんフォーラム

基礎教科：20点

日時：令和3年10月19日(火) 18:30～19:30

場所：安城更生病院 2階 講堂

テーマ：『がん薬物療法の今、そしてこれから』

講師：名古屋大学医学部附属病院

化学療法部 病院講師 満間 綾子

司会：安城更生病院 血液・腫瘍内科

通院治療センター長 稲垣裕一郎

参加費：無料

内容：当院は地域がん診療連携拠点病院として、がん治療の三大療法である手術療法、放射線治療、

化学療法に力を入れています。

今回の西三河がんフォーラムは、名古屋大学医学部附属病院の満間綾子先生より講演いただき、西三河地区のがん診療に従事する医療者と共にご案内させていただきます。

ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては急遽開催を変更する可能性があります。開催変更がある場合には、安城更生病院のホームページのお知らせにてご案内させていただきますので、お出かけ前にご確認ください。

基礎講座

遺伝子染色体検査研究班

専門教科：20点

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録

令和3年9月1日(水)～23日(木)

※視聴方法は後日メールにて配信

定員：40名(上限に達し次第、締切)

参加費用：なし

レポート：なし

日時：令和3年10月9日(土) 14:00～16:00

配信方式：講義はオンデマンド配信、動画最後に実習出題(10月1日から予定)

実習解説はライブ配信

テーマ：がんゲノム医療のあいうえお

～臨床検査技師が知っていたほうが良い知識～

講師：

1. がんゲノム医療とは

愛知県がんセンター病院 柴田 典子

2. 遺伝子基礎とバリエーション 藤田医科大学 大江 瑞恵

3. がんゲノム医療における相談支援の実践

名古屋大学医学部附属病院

地域連携・患者相談センター 黒柳 佳代

4. がんゲノム医療と二次的所見への対応

名古屋大学医学部附属病院 ゲノム医療センター

遺伝カウンセリング部門 森田 真未

5. アノテーション及びキュレーションおよび実習出題

三重大学医学部附属病院 池尻 誠

実習解説：三重大学医学部附属病院 池尻 誠

内容：今回の企画では、がんゲノム医療と遺伝子の基礎を復習するとともに、がん患者の相談や遺伝カウンセラーに従事している講師を招き、普段聴くことができない現場の声をお届けします。

また、遺伝子パネル検査により得られた膨大な検査データから、どのように意義のある結果として患者さんに報告するのか、実習形式で体験していただきます。

双方向で音声・ビデオ通信ができる環境が必要となります。

生物化学分析検査研究班

(ライブ配信)

専門教科：20点

閲覧期間：令和3年10月24日(日) 9:00～12:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録

令和3年9月24日(金)～10月17日(日)

※視聴方法は後日メールにて配信

参加費用：なし

レポート：令和3年11月27日(土) 締切

配信方法：ライブ配信

テーマ：精度管理【実務編】

～押さえるべきポイントは?!～

講師：

1. 分析前の精度管理～ピペットの使い方や校正～

愛知医科大学メディカルクリニック 森部 龍一

2. 管理試料の取り扱い

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 尾崎 靖将

3. 検体検査の精度管理

4. 精度管理の考え方

一臨床検査における精度管理の考え方および不確かさの考え方
アポットジャパン合同会社 学術情報室 村上 聡

内 容：昨今、法改正の流れを受け、検査室に於いて検査の質(精度)の向上が今まで以上に求められています。今回は精度管理をテーマに挙げ、より実務に近い内容としました。普段、何気なく行っている業務を今一度振り返り、精度管理について考えてみましょう。当日のライブ配信は、別途オンデマンド(録画)配信も予定していますので、復習等にご活用ください。

生物化学分析検査研究班 (オンデマンド配信)

専門教科：20点

閲覧期間：令和3年11月1日(月)～14日(日)

参加方法：日臨技 HP から事前登録

令和3年10月1日(金)～25日(月)

※視聴方法は後日メールにて配信

参加費用：なし

レポート：令和3年11月27日(土) 締切

配信方法：オンデマンド配信

テ ー マ：精度管理【実務編】

～押さえるべきポイントは?!～

講 師：【生物化学分析検査研究班基礎講座】

(ライブ配信)参照。

内 容：10月24日(日)開催の基礎講座のオンデマンド配信(録画)となります。「ライブ配信」と「オンデマンド配信」のお申し込み間違いにはご注意ください。オンデマンド配信の視聴を希望される賛助会員、学生の皆さまは(f.sato@goodld.com)に直接お申し込みください。後日、視聴方法について連絡いたします。

一般検査研究班

専門教科：20点

(認定一般検査技師指定講習会 20単位取得可能)

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録

令和3年9月13日(月)～10月16日(土)

※定員になり次第締め切り

※視聴および参加費用支払い方法は後日メールにて配信

※備考に「認定一般検査技師資格」の有無を記載。(認定参加証必要者は 必ず記入してください。後日申し出の発行はできません。)

定 員：90名

参加費用：愛臨技会員、他県会員1,000円、非会員2,000円

レポート：令和3年11月14日(日) 締切

日 時：令和3年11月14日(日) 9:00～16:30

配信方法：ライブ配信

テ ー マ：レベルアップ、尿沈渣！極めよう、関節液！
《午前》

講 師：

1. 一般検査で見られる異型細胞

JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 鈴木 康太

2. 関節液検査について

公立西知多総合病院 服部 聡

司 会：藤田医科大学病院 長瀧 和子

《午後》

3. スライドカンファレンス

4. 関節液スライド実習

5. R-CPC

内 容：班員とディスカッションしながら尿検査について学び、沈渣判読技術のレベルアップを図りましょう。また要望が多かった関節液検査について、臨床的意義から結晶分類、鑑別診断に至るまで重点的に講義、実習を行います。

輸血検査研究班

専門教科：20点

日 時：【基本コース】令和3年11月20日(土)
13:00～16:00

【応用コース】令和3年11月21日(日)
10:00～16:00

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
令和3年9月1日(水)～30日(木)

参加費用：【基本コース】2,000円
【応用コース】4,000円

定 員：各コース45人

配信方法：ライブ配信

テ ー マ：「みんなで学ぼう輸血検査
～検査の基本的な手技やコツを身に付けよう～」

講 師：輸血検査研究班班員

内 容：実技講習会

【基本コース】

動画による基本操作の確認と事前に提示する課題(血液型検査・交差適合試験)の解説を実施します。当日は質問も受付し、日常業務の不安解消を目指します。

【応用コース】

現場で遭遇する“予期せぬ反応”をどう解釈し、

追加検査を実施するか？今回は、検査の方法やコツまで丁寧にお伝えします。受講者が感じている疑問や不安にも経験豊富な講師が回答します。

対象者：

【基本コース】

輸血検査に携わって間もない方・基本操作の再確認・日当直のみ輸血検査を実施している方

【応用コース】

輸血検査のスキル向上を目指す方・施設で輸血検査を指導する立場の方

講演会

血液検査研究班

専門教科：20点

日時：令和3年10月16日(土) 15:00～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
令和3年9月16日(木)～10月9日(土)

定員：80名(上限に達し次第、締切)

参加費用：なし

レポート：なし

場所：名古屋大学医学部附属病院基礎棟3F 第1講義室
(JR 中央線・鶴舞駅 名大病院側口下車)
※感染状況に応じ、開催方法変更の可能性があります

テーマ：「凝固時間検査の測定原理を学び、
結果解釈に活かそう」

講師：

1. 「血友病治療の新時代」

名古屋大学医学部附属病院 輸血部 講師 鈴木 伸明

2. 「凝固時間検査の測定原理について」

藤田医科大学病院 佐藤 聖子

3. 「結果解釈に苦慮した症例」

豊田厚生病院 藤上 卓馬

内容：講演1では臨床側から血友病治療の変遷とヘムライブラ使用患者における検査データの特徴についてお話して頂きます。講演2では凝固因子活性測定やインヒビター測定、ループスアンチコアグラント測定を含む凝固時間検査の原理について学びます。講演3では結果解釈に苦慮した症例を提示して考えていきます。

生理検査研究班

(ライブ配信)

専門教科：20点(レポート提出者に限る)

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
令和3年9月16日(木)～10月9日(土)
※視聴方法は後日メールにて配信

参加費用：なし

レポート：令和3年11月5日(金) 締切

日時：令和3年10月16日(土) 15:00～17:00

配信方法：ライブ配信

テーマ：先天性心疾患を学ぶ

講師：

1. 心エコー検査時のポイント(ASD・VSD・PDA)
名古屋掖済会病院 花井甲太郎

2. 症例検討

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 海老名祐佳

3. 先天性心疾患のエコーのポイント

藤田医科大学医学部小児科学 講師 内田 英利

司会：安城更生病院 犬塚 斉

内容：成人先天性心疾患(ACHD)では、従来は未治療のまま成人期を迎えた症例が主体でしたが、先天性心疾患の治療が進歩し、最近では成人期を迎えた複雑心奇形の治療後症例を評価する機会が増えてきました。しかし、検査時には病態や血行動態など多くの知識を必要とするため、検査に難渋し苦手意識を感じている方も多いと思われます。

今回、実際の症例を提示しながら ACHD の評価のポイントを解説していただきますので、苦手意識を感じている皆様にも役に立つ内容です。ぜひご視聴ください。

生理検査研究班

(オンデマンド配信)

専門教科：20点(レポート提出者に限る)

閲覧期間：令和3年10月17日(日)～30日(土)

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
令和3年9月16日(木)～10月9日(土)
※視聴方法は後日メールにて配信

参加費用：なし

レポート：令和3年11月5日(金) 締切

配信方法：オンデマンド配信

テーマ：先天性心疾患を学ぶ

講師：【生理検査研究班講演会】(ライブ配信)参照

内容：10月16日にライブ配信で開催される講演会のオンデマンド配信となります(講演会の録画配信)。お間違えのないようご注意ください日臨技 HP よりお申込みください。賛助会員、学生の皆さまは clt_kaz_hisatomi@outlook.jp へ参加希望の旨ご連絡ください。後日、視聴方法についてご連絡いたします。

愛知県臨床検査標準化協議会(Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization: AiCCLS)は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発行された刊行物、愛知県臨床検査値統一化ガイドライン「臨床化学検査」についてご紹介いたします。2014年3月、日本臨床検査標準協議会より「JCCLS 共用基準範囲」が発表されました。この基準範囲は日本臨床衛生検査技師会と日本医師会を含む多くの団体・学会の同意と賛同を得て発表されており、本邦において広く共有できる基準範囲と考えられます。今回、共用基準範囲の普及を目的として、2006年に発行した「愛知県臨床検査値統一化ガイドライン」を改訂しました。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会 HP の、臨床検査標準化情報をご覧ください。(AiCCLS:愛知県臨床検査標準化協議会)

VII. 各項目における標準化の現状

使用している分析装置のメンテナンスを十分に実施し、精密さ(施設内の日内・日差変動)を確保し、使用している測定試薬メーカーが推奨する標準物質を用いるのが大前提となる。施設内における精密さ確認については日臨技指針や日本臨床化学会が提唱する施設間・施設内許容誤差限界を参考にされたい。

1. 総蛋白・アルブミン

総蛋白には標準化された測定方法は無く、標準物質も無い。ReCCSにはアルブミン表示値のある標準品があるが、これらの標準品の大半はdefinitive method(基準法)を対象としているので日常検査試薬の校正に用いることは難しい。国内ではビューレット法が市場の大半を占め、他の選択法は現実的ではない。測定キットが推奨している市販標準物質の“値付けが明確”をポイントに試薬選定を行う。ヒトアルブミン、ウシアルブミン等を値付けの根拠にした製品が市販されているが、正確さの確認を一般施設で実施することは困難なので、外部精度管理調査の結果や、日常用いている市販管理血清の全国集計の平均値を参考にする。

以前はアルブミンではBCG法が市場の多くを占めていたが、グロブリンの測り込みが大きく特異性に問題があった。その一方でBCP法はアルブミンに対する特異性は高いものの酸化型/還元型アルブミンに対する反応性が異なることから、病態や検体の安定性に問題が生じていた。近年、この問題を改善したBCP改良法(前処理でアルブミンを還元型から酸化型に変換し測定)が市販されはじめ、今では多くの施設がBCG法からBCP改良法へ移行しており、愛知県においてはBCP改良法が約90%を占めている状況である。反応性の違いから、BCP改良法はBCG法に比し低値になる。その為、肝予備能の評価やアルブミン補充の適否、NST介入の適否などへの影響が予想され、測定法を変更する際には施設における十分な検討が必要と思われる。

2. ビリルビン

総ビリルビンも標準化されていない項目の一つであるが、酵素法、化学酸化法等の測定試薬の大半は、ほぼ近似した測定値が得られている。旧来のジブゾ法は海外では広く普及しているため、外資系メーカーの試薬で市販され、一部の施設において採用されているが、その場合には他施設と測定値が一致しているかヒト血清(患者試料)を用いて検証する必要がある。今回の共用基準範囲の設定項目には直接ビリルビンは含まれていないが、測定方法も標準物質も標準化されていない。市販管理血清の反応性も患者試料とは異なる。総ビリルビン・直接ビリルビンともに市販測定試薬と市販標準品を正しく組み合わせで使用する必要がある。

試薬によっては直接ビリルビン測定時にアルタビリルビンを測り込むので、結果の解釈時には注意が必要である。

17

VII. 各項目における標準化の現状

4. 含窒素

尿素窒素は、市販測定試薬と正しい市販標準品の組み合わせで、正確に測定することが可能な項目である。内因性アンモニアを除去している測定試薬であれば、患者試料測定には問題無いと考えるが、凍結乾燥試料中にはアンモニアが多く含まれている製品もあるため注意が必要である。ReCCS標準血清で正確さを確認することが可能である。また、今回、報告桁数について共用基準範囲では整数表記としているが、近年の試薬性能の技術水準からは小数点以下1桁報告が十分可能であり、多くの施設で用いられている。

尿酸は尿素窒素と同様に測定試薬と標準品の正しい組み合わせで正確に測定でき、ReCCS標準血清で正確さを確認することが可能である。現状では標準化された項目の一つであるといえる。性別差のある項目であるが、臨床判断値として7.0 mg/dLを採用した。

クレアチニンは酵素法の普及が進み、大半の施設で用いられ標準化された項目の1つであるといえる。しかし酵素法の普及は日本国内だけで、海外ではJaffe法が大半を占めている。そのため外資系試薬ではJaffe法しかない外資系メーカーも存在する。諸般の事情によってJaffe法を採用している施設もあると思われるが、国内標準化の現状から再考していただきたい。

近年、報告桁数は小数点2桁が用いられ、慢性腎臓病(CKD)の重症度分類として、性別、年齢、クレアチニン値から算出される推算糸球体濾過量(eGFR)が用いられている。多くの施設でクレアチニン値と併記している施設が増えている状況にある。

5. グルコース・HbA1c

グルコースは汎用分析装置を用いても、専用分析装置を用いても正確に測定できる項目であり、ReCCS標準血清を確認していることができる。患者検体測定に解糖阻抑制剤入り採血管を使用している施設と、使用していない施設があり、外部精度管理調査の施設間差よりも、日常検査の施設間差の方が大きいと推測される。共用基準範囲では静脈血漿値となっているため、測定に血清や全血を用いている施設は注意していただきたい。

ヘモグロビンA1cはHPLC法を用いた専用分析装置を採用している施設が多く見受けられていたが、近年、検査センターを中心に汎用分析装置を用いた免疫比濁法や酵素法の採用施設が増えつつあるため、外部精度管理を通じ、方法間差や採用頻度について今後の推移が注目される。全血測定では遠心条件によるデータ変動も確認され、機器管理だけでなく、前処理の条件も含めた精度管理が必要となる。

6. 酵素

市販されている標準化対応法の測定試薬と、正しい組み合わせの製造販売元指定酵素キャリアプレートで、ほぼ問題なく正確に測定できる。日本国内においては標準化対応法の普及により達成されたといえる。しかし、製造販売元指定酵素キャリアプレートも外部精度管理試料も使用手順に従って用いないと、誤差が発生するケースがあるため注意が必要である。特に溶解する水の温度管理、測定するまでの時間等は遵守する必要がある。誤差数%以内の精度を求める精度管理調査もあるが、現実にはJC-ERMのロットによって若干のズ

19

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧ください、お申し込みください。



愛臨技 HP